

平成27年度
赤穂市立赤穂中学校
「学校だより」

荒神台

NO. 17

平成28年3月23日発行
文責 校長（平井 正彦）

なぜ、勉強するの？



授業がおもしろくない、授業が分からないという生徒が少なくありません。もちろん、私たち教師に、教えるプロとしての力量や工夫が、まだまだ不足していることも原因の一つだと思います。

また、授業は生徒と先生でつくるドラマです。事前に細かい筋書きをつくり、何を子どもたちに理解させていくのか、また、子どもの学ぶ意欲をどうやって引き出し、次の学びにつないでいくのか、準備に時間をかけますが、筋書き通りには進みません。



教師は、授業する学級の全員が主役になれるよう準備しますが、生徒の中には、「学びたい」という気持ちのない生徒もいます。

予習も復習もしないで、寝不足な顔をして座っているだけでは、教師がいくら準備しても、授業の内容を理解できるわけがありません。答えられるように簡単な質問をしても、あっさりと「分かりません」と答え、考えようとする気配すら感じない時もあります。



子どもたちは、「どうして学校へ行くの？」「どうして勉強しなければいけないの？」という、最も基本的な部分でつまずき、迷っているようです。

子どもたちが生まれた頃、すでに世の中は豊かで、特別に努力しなくても困ることなく、食べることの心配もほとんどありません。子どもたちは、生きるために努力するとか、生きるために知識や知恵を学ぶという緊張感もありません。

また、将来のために今を頑張らなくても、何

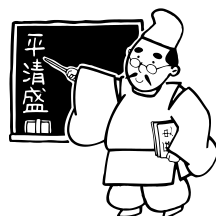
とかなると思っているところもあります。

海外には、学校がない国、紛争で勉強どころではない国、家計を助けるために学校より仕事優先の国など、現在、地球上で1億5千万人以上の子どもたちが学びたくても、学べない状況にあります。

26年前のイラク、フセイン政権下では、宗教上の理由から、女の子は学校で学ぶことが禁止されていました。学びたくても学べないのです。

学ぶことで、自分の世界が広がり、生きる張り合いが出てきます。その当時、多くの女の子は男の子に変装し学校へ通ったそうです。それを許可した校長と子どもの家族は、見つければ処刑される状況の国です。

また、鉛筆1本、紙切れ1枚を手に入れるのに、大変な思いをしている他国の子どもたちが、日本の教室のゴミ箱を見ると、眼が点になることでしょう。



どうぞ勉強して下さい、お昼には温かい給食をどうぞと、何から何まで至れりつくせりの日本の子どもたちには、「学ぶ」ことは、命をかけるほど大切なことだと理解するのは難しいのかもしれない。

学校では一般的な話しかできません。ここはひとつ、親として、学んできた先輩として、これからも学び続けなければならない大人として、子どもと語り合ってください。

格好いい答えを示すのではなく、だれもが迷いながら生きてきたことを話してもらえば、子どもが自分で答えを見つけるきっかけになると思います。

4月の主な行事

- 3/23(水) 小学校卒業式
- 3/24(木) 修業式
- 4/ 6(水) 離任式・着任式・始業式
春の全国交通安全運動～4/15
- 4/ 7(木) 入学式
- 4/ 8(金) 生徒会対面式・オリエンテーション
- 4/12(火) 給食開始、課題テスト(2.3年)
- 4/14(木) 歓迎遠足・PTA常任委員会
- 4/15(金) 新入生歓迎テスト(1年)

- 4/16(土) 授業参観・PTA総会・PTA新旧懇親会
- 4/18(月) 振替休業日
- 4/19(火) 全国学力・学習状況調査(3年)
- 4/25(月) 家庭訪問～4/28
- ※ 5/15(日) 市民体育祭【登校日】
- ※ 5/16(月) 代休
- ※ 5/19(木) 中間テスト～5/20(金)
- ※ 5/23(月) 3年修学旅行～5/25(水) 沖縄
1年野外活動～5/24(火) 関谷
- ※ 5/29(日) PTAインターネット研修会



校内ニュース・つぶやき

ご協力、ありがとうございました。

学校だよりNO.14にて、『運動場のつめあと』の記事を掲載し、運動場への自動車の乗り入れ方についてお願いをしていました。

卒業式前日も雨でしたので、運動場を歩くと靴がどろだらけになりはしないかと、心配しましたが、何とか移動できる状態でした。

また、自動車の移動についても、「つめあと」を残すことなく、ご協力いただいたことに感謝いたします。ありがとうございました。



成長と卒業の喜び part 2

第69回卒業証書授与式 3月10日

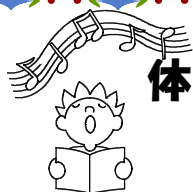


多くの来賓と保護者のみなさんにご出席いただき、本校卒業式が無事に終了しました。式次第は毎年同じですが、3年生らしさがあふれ、派手なところはないのですが、精一杯がんばる雰囲気包まれた感動的な式でした。

来賓の方からも、「心温かい雰囲気に包まれたとてもすばらしい式でした。」という感想を数多くいただきました。

なお、卒業式に出席できなかった生徒は、当日の午後、校長室にて一人ずつ卒業証書を手渡し、また、数名は、後日、担任とともにこちらから出向いて証書を渡してきました。

いろいろな事由や家庭事情などにより、みんなと一緒に卒業の喜びを分かち合えなかった子どもたちですが、それぞれに希望を持って、大きな一歩を踏み出してくれることを願っています。



体育館の「校歌」を交換します

体育館の正面左の壁に「校歌」の歌詞を掲示していますが、初めての人は文字が読めません。芸術品としての価値はあるのですが、時折、歌詞を見ながら歌う人には、あの文字は読めないのです。

そこで、文字の字体を「楷書」に変更したものと交換し、現在のものは、会議室の壁に引っ越してもらうことにしました。

公立高校入試結果

3月19日発表 兵庫県公立高校 外	合格者数	
	推薦・特色	一般
赤穂高校（全日制）	5	45
〃（定時制）	—	4
相生高校	5	3
相生産業高校	5	6
上郡高校	9	8
太子高校	4	—
龍野高校	5	9
龍野北高校	3	—
佐用高校	2	8
姫路東高校	1	0
姫路別所高校	0	—
姫路飾西高校	1	—
姫路南高校	0	4
姫路工業高校	0	1
東播工業高校	1	—
県立農業高校	0	1
県立大学附属高校	4	—
網干高校（通信制）	—	1
県立特別支援学校	—	2
国立明石高専	1	—
合格者計	46	92
受検者計	61	94



兵庫県公立高校一般入試の合格発表が、3/19(土)にありました。午前10時を過ぎると、各校に散った本校職員から、また、受検者本人から、次々と結果の連絡が入り、そのたびに職員室では、拍手と歓声で賑やかになります。

合否ラインにある生徒、頑張っているのに伸び悩んでいた生徒、不合格の場合は事情により進路変更を迫られる生徒など、いろいろな事情があるため、合格の知らせを受けて、先生は思わず喜んでしまうのです。

3年生は、とにかくまじめに授業に集中し、仲間同士が声をかけ合いながら、よく勉強していましたが、思った通り、近年にない極めて高い合格率でした。やはり、静かに授業に打ち込んできた成果は、きちんと、しかも一番大事な時に出ることが分かります。

例年、この日は、不合格になった生徒の進路相談や手続き事務で、教師が走り回る日なのですが、今年は事前に終了し、何もすることがありません。

おしらせ

■各自治会長さまをはじめ、自治会役員の方には「荒神台」の回覧について、大変お世話になりました。ありがとうございました。来年度も続けますので、よろしくお願いいたします。